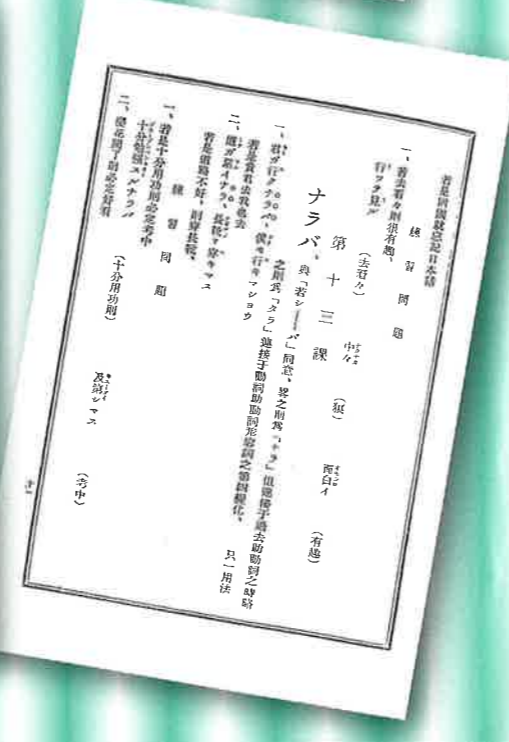
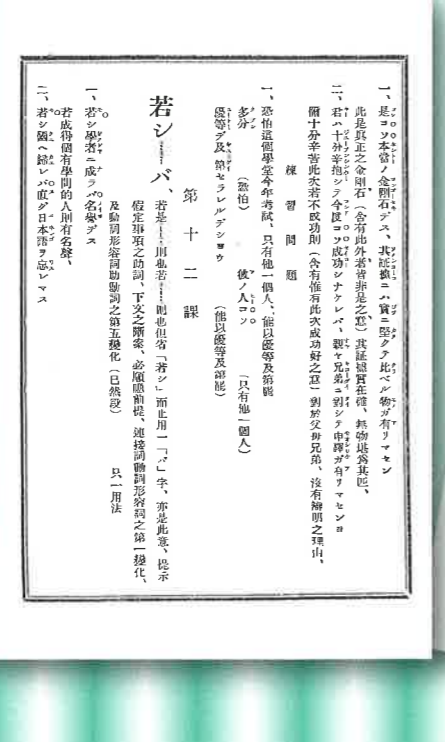
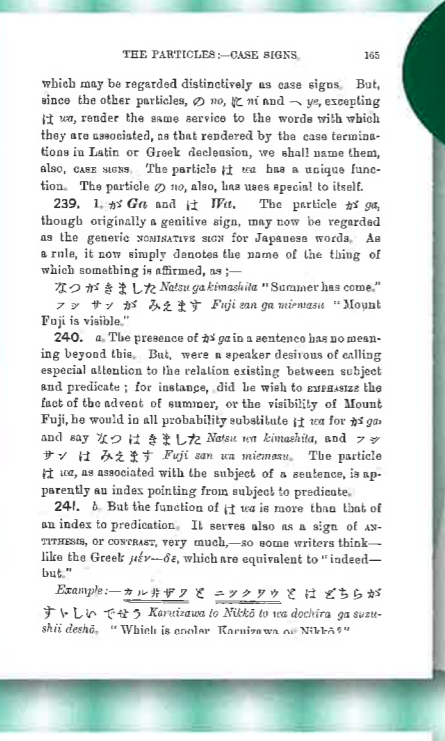
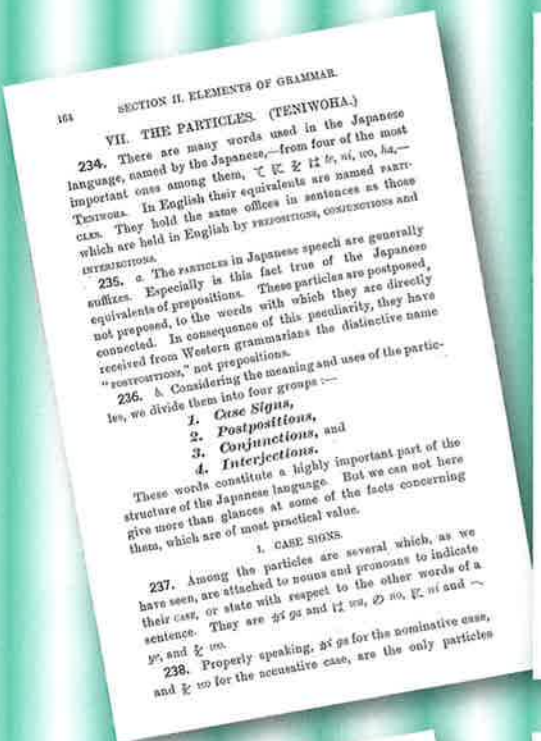


近代日本における日本語学の名著が蘇る

近代日本語教科書選集

●編集・解説／李長波（同志社大学准教授）

全3回配本
全14巻・完結



クロスカルチャー出版

近代日本語教科書選集

全3回配本 [全14巻] 完結

■編集・解説／李長波（同志社大学准教授）

■定価：本体370,000円+税 ■体裁 B5判・上製・総約7,000頁

第1回配本(全5巻)

定価：本体120,000円+税 総約2,200頁(2010年2月刊行) ISBN978-4-905388-00-5 C3381

- 第1巻 An elementary grammar of the Japanese language: with easy progressive exercises / by Tatui Baba. London: Trübner, 1873
- 第2巻 An introductory course in Japanese / by Clay MacCauley. Yokohama: Kelly and Walsh, 1896
- 第3巻 漢語日語法精義 高橋龍雄 東亜公司 明治39年
- 第4巻 漢語日語法精義 高橋龍雄 東亜公司 明治39年
- 第5巻 漢語日語法精義 高橋龍雄 東亜公司 明治39年



第2回配本(全5巻)

定価：本体130,000円+税 総約2,700頁(2010年6月刊行) ISBN978-4-905388-06-7 C3381

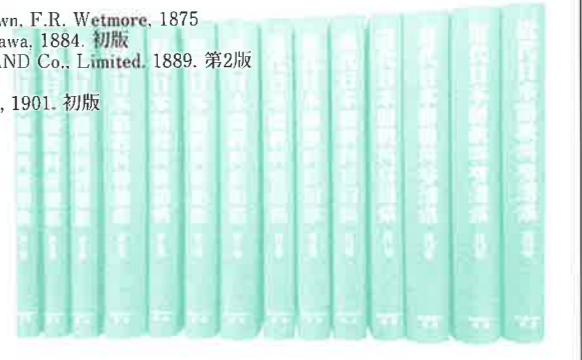
- 第6巻 Kuaiwa hen, twenty-five exercises in the Yedo colloquial, for the use of students, with note / by Ernest Satow; pt. 1. 2: Notes and paradigms, Yokohama: Lane, Crawford, 1873. 初版
- 第7巻 和文漢讀法 附譯書語彙編叙例 梁啓超原著・沈翔雲編 勵志會譯書處 1900. 初版
- 第8巻 日清對譯實用日本語法 岸田葦夫 明文堂 1906. 初版
- 第9巻 A short grammar of the Japanese spoken language, 2nd ed./ by W.G.Aston: Belfast: F.D. Finlay, 1871. 第2版
- 第10巻 日華對譯現代日本語會話文法 堀越嘉博・浅井周治 大連:大阪屋書店 1940. 増補第15版



第3回配本(全4巻)

定価：本体120,000円+税 総約2,100頁(2011年6月刊行) ISBN978-4-905388-35-7 C3381

- 第11巻 Prendergast's Mastery System, Adapted to the study of Japanese or English / by S.R. Brown, F.R. Wetmore, 1875
- 第12巻 日語獨習書 郭祖培・熊金壽著・村上惠道編 大阪:東文学堂 1903.8. 初版
- 第13巻 新式東語課本 中堂謙吉著・伊澤修二編 東京:泰東同文局 1906. 初版
- 第14巻 東語自修指掌 又名日本語獨案内 文求堂編輯局著 東京:文求堂 1907.7. 初版



〈おすすめ先〉日本語学・国語学・言語学・日本語教育学・近代文学・中国語学・中国文学の研究者・大学・短大図書館／公共図書館など

取扱書店

クロスカルチャー出版
学術図書

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-7-6-201
TEL03-5577-6707 FAX03-5577-6708
e-mail: crocul99@sound.ocn.ne.jp

刊行にあたって

同志社大学准教授 李長波

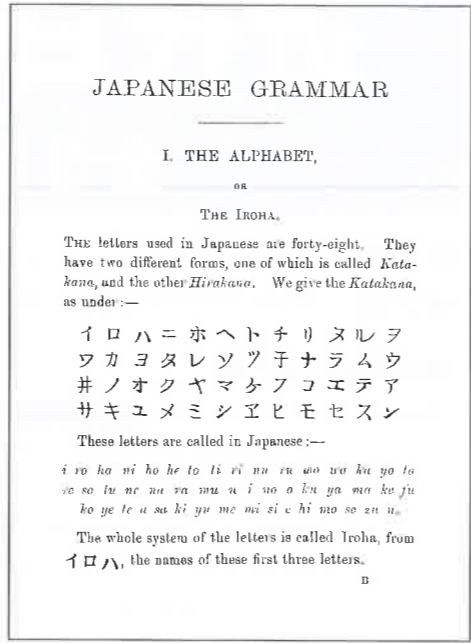
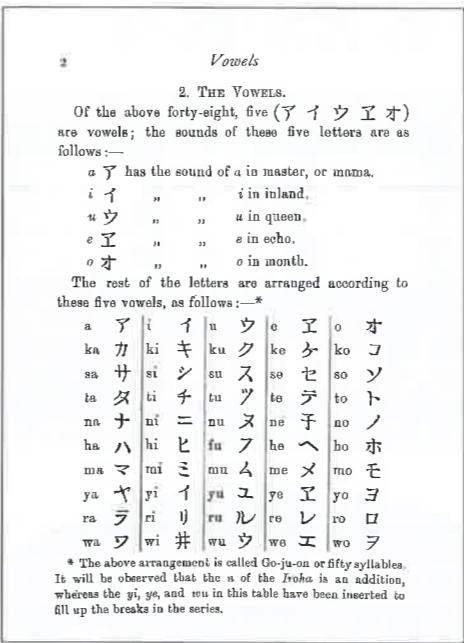
言葉は外国語との接触によって洗練されることもあれば、あらゆる方向へと変化をよぎなくされることもあるといわれる。古代日本語についていえば、漢字、漢文を介した古代中国語との出会いの残したもつとも顕著な軌跡も大きく後の二点に収斂されよう。

明治時代のことは、現代語のいろいろな性格を決定づける大きな地盤であり、日本語史のなかでもっとも変化の激しい時期でもある。その激しい変化の背景には、日本語がそれまでもつばら中国語を受容する立場から一転して中国語以外の欧米の諸言語に触れる機会が増したことが、すなわち日本人がより多くの外国語を学ぶようになったことに加え、

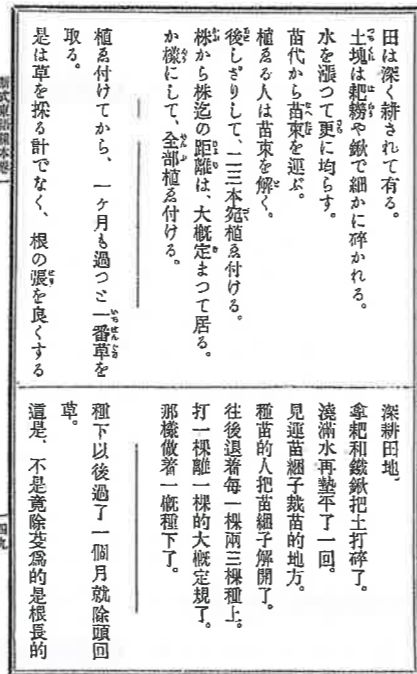
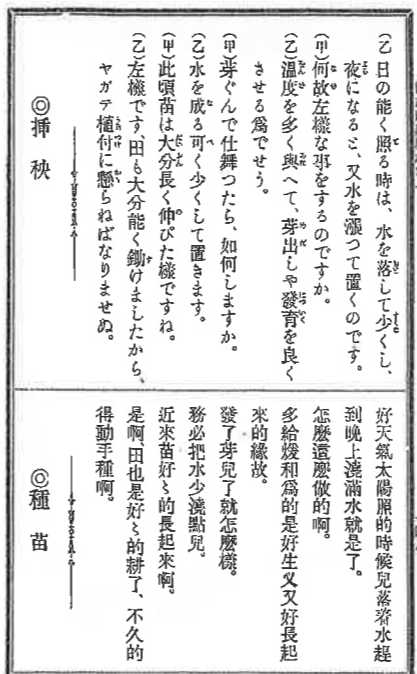
江戸時代の初めに宣教師による日本語研究の成果は今日なお日本語学と日本語史の第一級資料たる価値を失っていない。明治初期から第二次世界大戦終結までの間にかぎってみると、一部ヨーロッパ文学の権柄をいまだ免れていない識りもあつても、日本人による外国人のための日本語文法、外国人による外国人のための日本語文法で、今日の日本語学の先駆的な成果として評価に値するものも少なくない。日本語教育史、日本語学史、日本語史、ひいては異文化コミュニケーションの歴史、日本語の国際化の歴史を研究するための基本文献として、本選集を広く各分野の研究者に送るゆえんもここに在る。

特色

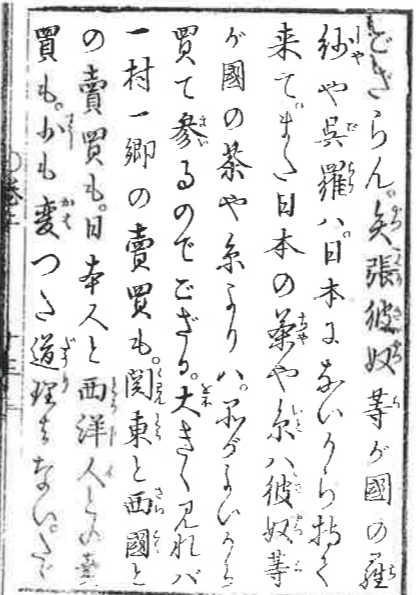
- 1 明治時代から第二次世界大戦終結までの、日本人による外国人のための日本語教科書、文法書を精選。日本語教育史の第一級資料。第二次世界大戦終結までの日本語教育の実態がこれによって明らかに。明治時代のものは、草創期の限界を示しながらも、草創期ならではの問題意識と着眼が見て取れて、興味深いものが多い。
- 2 日本人による外国人のための日本語教科書、文法書は、国文法や国語学と視点を異にしているために、示唆に富む内容が多い。
- 3 外国人のための日本語会話テキストは、東京山の手の上流階級の言葉に範をとっており、幕末・明治初期のものと、明治の中頃のものととの間に、東京語の成立過程を裏付ける現象が多く、近代国語史の資料としても役立つものが多く集められている。
- 4 会話のテキストだけでなく、例文、文章にはすべて英語や中国語の対訳が付いており、対訳資料として対照言語研究にも役立つものである。
- 5 外国人のための日本語会話テキストの内容は多岐にわたっており、近代文化交流史、異文化コミュニケーション史の資料としても有用である。



An elementary grammar of the Japanese language: with easy progressive exercises / by Tatui Baba, London: Trübner, 1873 (第1巻収録)



『新式東語課本』一編 中堂謙吉著・伊澤修二関 東京：秦東同文局 1906. 初版 (第13巻収録)



『交易問答』加藤弘藏 上・下 谷山楼 1869. 初版 (第6巻収録)

内容見本

『近代日本語教科書選集』刊行によせて

京都大学教授 木田 章義

日本語の教科書は、数多く出版されてきたが、これまで、明治時代初期の西洋人の編纂した一部のものが注目されてきただけで、ほとんど顧みられることがなかった。

本選集は、西歐人が編纂した日本語教科書と中国人向けに編纂された日本語教科書とを集めたものである。細かな観察がなされておき、明治末期の見た日本語の細かな特徴が記述され、書記法、文体の違いなどにも細かな観察がなされておき、明治末期の見た日本語資料としても利用できることは周知の通りである。

本選集は、中国人向けの日本語教科書が多く収められているのが特徴である。日清・日露戦争後、中国人留學生が急速に増え、それに伴って日本語学習も高まったことを受けて、中国人向けの日本語教科書も予想以上に多く出版された。松下大三郎や大矢透が中国人向けの日本語教科書を編纂していたことは余り知られていないが、本選集によって、どのように日本語を分析していたかを見ることが出来る。

中国語で日本語文法を丁寧に解説したものや日本語で中国人向けに書かれたものなどいろいろな形の教科書がある。教科書という性格から、衣服の絵、お札や硬貨の図、長さの単位などの解説など、日本での生活に必要な細かな情報も込められている。例文に中国語訳が付けられるのは当然として、日本語の文章の付属語の横に漢字をあてて、中国語ではどういう意味に該当するかを示したり、文語文と口語文を対照させて文章語も学習できるようにしてあったりする。文法論、品詞論、表現論など多彩な記述がある。「日華対訳」現代日本語会話文法(大正十五年、堀越・浅井)などでも、簡潔で、的確な日本語文法の解説があり、「象は鼻が長い」という例文も挙げて、「文主」主語、述語」と分析し、「象の鼻は長い」と文の構造が違ってから混同するなど、良くできた教科書である。

関連年表

- 年表
- 一八六三年(文久三年) S. R. Brown: Colloquial Japanese 上海にて出版される(本選集第一回配本)
- 一八七三年(明治六年) Ernest Satow 『春秋雑誌』全話編(KUWAWA HEN) (本選集第二回配本)
- 馬場辰猪『日本文典初歩 An Elementary Grammar of the Japanese Language』(本選集第二回配本)
- 一八九六年(明治二十九年) 清国政府留學生十三人來日『Gay Macaulay, An Introductory Course in Japanese』出版(本選集第一回配本)
- 一八九八年(明治三十一年) 清国政府 日本へ留學生を組織的な派遣開始。
- 一九〇〇年(明治三十三年) 『和文漢読法』(沈翔雲編) 東京にて出版(本選集第二回配本)
- 一九〇一年(明治三十四年) 梁啓超『和文漢読法』上海にて出版(本選集第二回配本)
- 一九〇二年(明治三十五年) 宏(弘) 文學院創設・清国留學生會館が神田駿河台につくられる。秋瑾女子ここで松本龜次郎に日本語を習う。
- 一九〇三年(明治三十六年) 松本龜次郎 宏(弘) 文學院にて松本龜次郎に日本語を習う。
- 一九〇四年(明治三十七年) 松本龜次郎『言文対照・漢訳日本文典』(本選集第一回配本) 出版。清国留學生一千三百人にのぼる。
- 一九〇五〜一九〇六年(明治三十八・三十九年) 清国で科挙廃止。日本への清国留學生八千人ぐらい。
- 一九〇九年(明治三十二年) 田森長次郎『和漢英対照文法』(本選集第二回配本) 出版。
- 一九一四年(大正三年) 日華同人共立東亞高等予備校(東亜学校)開設。
- 一九一七年(大正六年) 周恩來 東亜学校に入学、松本龜次郎に日本語を習う。
- 一九三六年(昭和十一年) 曾野『路』『日語大文典』出版。
- 一九四三年(昭和十八年) 日本文化振興会(湯澤幸吉郎編)『日本小文典』出版
- 一九四四年(昭和十九年) 日本文化振興会(湯澤幸吉郎編)『日本語表現文典』出版

『第一期中国人留學生』というのは一八九六年から一九三七年までの約四十年間をさす。(松本龜次郎は第一期中国人留學生のなかの、日本人教師の中心人物。第一期留學生で、日本語教育の代表者である。)(三七七とつけしゅう『中国人留學生史』、第一書房、一九八二年、三四四頁)

推薦します

西脇順三郎没後 30 年記念出版

西脇順三郎研究資料集

1962 年に谷崎潤一郎とノーベル文学賞を競った詩人の初の資料集

全 3 巻

編集・解説 澤 正宏 (福島大学教授)



クロスカルチャー出版

※澤 正宏『西脇順三郎のモダニズム』は本資料集には収録されていません

西脇順三郎没後 30 年記念出版

西脇順三郎研究資料集

1962 年に谷崎潤一郎とノーベル文学賞を競った詩人の初の資料集

全 3 巻

■編集・解説 澤 正宏 (福島大学教授) ■揃定価 92,400 円 (本体 88,000 円 + 税)

■体裁 B5 判・上製・総約 1900 頁 ISBN978-4-905388-40-1 C3395

■巻構成

●第 1 巻 [詩集]

『Spectrum』(ケイムプレス、ロンドン、1925.8) 初版 / 『Une Montre Sentimentale』(1925) 復元 / 『Poems Barbarous』(私家版、昭和 5 年) 初版 / 『Ambarvalia』(椎の木社、昭和 8 年 9 月 20 日) 初版 / 西脇順三郎詩集『あむばるわりあ』(東京出版、昭和 22 年 8 月 20 日) 初版 / 西脇順三郎詩集『旅人かへらず』(東京出版、昭和 22 年 8 月 20 日) 初版 / 澤正宏: 西脇順三郎の詩「馥郁タル火夫」を読む(上)(中)(下) (『福島大学人間発達文化学類論集』、福島大学人間発達文化学類、第 1 号、第 2 号、第 4 号、平成 17 年 6 月~平成 18 年 12 月) 初出

●第 2 巻 [詩論集・文学論集]

『超現実主義詩論』(厚生閣書店、昭和 4 年 11 月 15 日) 初版 / 『シュルリアリズム文学論』(天人社、昭和 5 年 11 月 11 日) 初版 / 『西洋詩歌論』(金星堂、昭和 7 年 11 月 20 日) 初版 / 『純粋な鷲』(椎の木社、昭和 9 年 11 月 25 日) 初版 / 澤正宏: (『西脇順三郎の詩と詩論』桜楓社、平成 3 年 9 月 20 日) 再掲載

●第 3 巻 [全集未収録資料集]

澤正宏: 『西脇順三郎全集』未収録資料 (1)~(6) (『花園大学研究紀要』、花園大学文学部、第 15 号、第 16 号、第 17 号、第 18 号及び『福島大学教育学部論集』人文科学部門、福島大学教育学部、第 48 号、第 49 号、昭和 59 年 3 月 10 日~平成 3 年 3 月 31 日) 初出 / 英語学小論文: The Savoy に就いて、“Feminine endings” in Chaucer、古代英語の語句順序 (English literature and philology; Annual 1929-1930 Volume1. Annual 1931-1932 Volume3. 丸善 (発売), 1930) 初出 / 『口語と文語』(研究社、昭和 11 年 12 月 5 日) 初版 / 『Pointed Roofs』Dorothy M. Richardson, with introduction and notes by Junzaburo Nishiwaki 研究社現代英文学叢書(KENKYUSHA、昭和 10 年 11 月 25 日) 初版 / 『言語学概論』(『日本現代文章講座』原理篇、厚生閣、昭和 9 年 8 月 11 日) 初出 / 『現代イギリス文学』(『日本現代文章講座』研究篇、厚生閣、昭和 9 年 7 月 14 日) 初出 / 『座談会 英文学研究の立場』福原麟太郎、西脇順三郎、中野好夫、阿部知二 (『文芸』改造社、昭和 15 年 12 月 1 日) 初出 / 澤正宏: 『西脇順三郎蔵書目録』(1)~(4) (『国文学論究』、花園大学国文学会、第 13 号、第 14 号、第 15 号、第 19 号及び『福島大学教育学部論集』人文科学部門、福島大学教育学部、第 45 号、昭和 60 年 10 月 15 日~平成 1 年 3 月 30 日) 初出 / その他・解説 (西脇順三郎自筆原稿、写真、絵を含む)

〈おすすめ先〉 近代詩歌文学、近代文学、英文学、比較文学、美術、大学・短大図書館、公共図書館、文学館など

好評既刊 【近代日本語教科書選集第 1 回配本・第 2 回配本・第 3 回配本 全 14 巻】

■編集・解説 李長波 (同志社大学准教授) 定価 388,500 円 (本体 370,000 円)

■B5 判・上製・総約 2,200 頁

●幕末・明治~大正時代までの著名な日本語の教科書を精選。西洋人が編纂した日本語教科書と中国人向けに編纂された日本語教科書を集めたもの。

クロスカルチャー出版

学術図書

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-7-6-201
TEL: 03-5577-6707 FAX: 03-5577-6708
e-mail: crocul99@sound.ocn.ne.jp

取扱書店

刊行にあたって

澤 正宏 (福島大学教授)

この度、日本の現代詩のパイオニアである西脇順三郎(二八九四―一九八二)の没後三〇年を記念して、詩人の初期の主な業績を中心にした『西脇順三郎研究資料集』(全三巻)を刊行することになりました。一九二五年末の西脇順三郎の英国留学からの帰国は、日本の現代詩にとっては大きな事件であり、その後、戦後(一九四五年以降)にわたるまで日本の詩観、詩作の方法、詩の表現などに大きな影響を与え続けてきました。今回の企画では、巨木のようなこの詩人の全体に一步でも近づくために、詩集はもろんのこと、詩論集、文学論集、全集未収録資料、蔵書目録などを、詩人の原点に立ち返って考えていくという意味で復刻するものであり、例えば、まだ研究されていないこの詩人の言語学者としての面などを探る資料としても充実しています。詩人としての西脇順三郎のベースが、古今の欧米の文学、神話学、民俗学、哲学などとともに、言語学にも立脚していたということは見逃せない事実であります。二十一世紀に入っても、西脇順三郎の詩業は若い詩人たちに興味をもたれ、注目されています。『西脇順三郎研究資料集』(全三巻)が、詩人の魅力を再発見させる企画であることを、また、日本の現代詩の飛躍のヒントになることを、さらに、これからの若い西脇順三郎研究者の方々への一助になることを願ってやまないものであります。

特色

- 1 西脇順三郎の現在では入手しがたい初期(敗戦直後を含む)の詩集全六冊を、表紙、挿入されている写真などとともに復刻する。とくに、英文詩集の一部、仏文詩集(原本なし、復元原稿による)は初めての復刻であり、これらの復刻は、頁の取り方や活字の配列などに直接ふれることが出来、詩を読むうえで興味深いものが多い。
- 2 詩集だけでなく、日本の現代詩における詩観を変えた詩論集、文学論集などの復刻も加え、詩の表現と詩観・詩論とのパラレルでありつつクロスもしている部分の発見がなされるよう工夫した。また、これらの詩論集、文学論集をとおして、欧米の古今東西の文学の(とりわけ詩における)、一九二〇年代から三〇年代にかけての日本的な受容の一つの特色が浮かび上がるはずである。
- 3 詩集、詩論集、文学論集の他に、既刊の全集に収められていない貴重な資料(単行本を含む)を紹介することで、この詩人の本質により深くくろくろアツプされるように配慮した。また、蔵書目録を紹介することで、英文学者、言語学者、評論家、随筆家でもあったこの詩人の「内なる図書館」への案内ができるようにも図った。
- 4 第一巻の復刻の後には、全体の詩集の解説に換えて、西脇順三郎の詩業のなかでも最も難解な詩である「馥郁タル火夫」の、編集・解説者による読解論文を掲載した。また、第二巻には、これも全体の詩論集、文学論集の解説に換えて、編集・解説者による西脇詩論の特色を論じた論文を掲載した。第三巻には、戦時下では沈黙を守りとおした西脇順三郎の、公けの場の発言としては最後である、太平洋戦争の一年前の貴重な座談会の記事を復刻した。

西脇順三郎の詩「馥郁タル火夫」を読む(上)

澤 正宏

『Une Montre Sentimentale』(1925) 復元

JEUNESSE

Sur le bord d'un fleuve plein de saumons
Nous nous couchions M. Hamilton et moi comme deux serpents
Les peupliers murmuraient comme les femmes
Les montagnes vertes s'écoulaient dans nos yeux
En jouant du chalumeau

Nous parlions de la Russie
Et nous nous en revenions vers notre lampe
O anciennes brosses charmantes!

Octobre

Mille tonneaux de papier blond
Murmurent au-dessus de ma tête
Les animaux lourds et juteux
Tombent tombent des arbres
Un jeune homme a été amputé
D'un pied ce matin
Mon soleil mûrit comme les amandes
Mon vent contient de l'acide amygdalin
Saison chloroformée
O zéro!

72 人間発達文化学類集 第1号 2005年6月

① ヴェビエの職分と彼の質とはアドニスと莢豆との間を通り無限の酒宴に急ぐ。故に一般に東方より来りし博士達に捕りかかり如何に滑かなる没落子か散れろかを見よ!

② 集合的な意味に於て非常な殆ど常なるさうして非常な正常なる延期! グラスケスと隣りとの他すべのものを!

③ 魚狗の鳴る有効なる時期に通に前方にアフロポリスを求めつ、幼少の足を延してその爪を新鮮にせしは二種の胡蝶の中でなく一個の蝶布者の頭の上である。

④ 断断なく祝福せよ襪の樹にのぼんとする水牛を!

⑤ 口蓋をたいて我を呼者あれば我はひそかに去らんとす。けれども又しても口中へ金を投するものあり。我はどならんとすれども我の髪はあまりにアンチエリコの羽れにすぎない。跳きたれども永遠は降りにかまひす。

⑥ 色彩りたる歌風よりクルツンを出す者あれば呼びて彼の名稱を同ふ。彼はやはりシリイの料理人であった。

⑦ 崖防を下んとする時我が頭を吹くものがある。それは我が従後なり。汝すみやかに乘りて汝の妻を愛せよ!

⑧ 船が膝の下を通るものがある。そこは道路ではない。

⑨ 彼は窓掛の後ろより掌をかざすものあれども難儀は難儀にして壁の如きものに過ぎない。

⑩ 我は私の首飾を付けて俄くパイプに火をつけて妻の髪に走る。

⑪ なぜならば水の上に煙を出す。副製物を穿。

⑫ 雨の如き家の内面に煙花をもちたる男!

⑬ ツンプの空に閉して演説するのはない然し船に閉して記述せんとするものだ。窓に椅子か、り音楽として休息する萎縮病者の足をアラセイトワとしてひびつばるのである。

⑭ 繁樹の呼よ! 夢遊病者の前に脚柱をつくりたまへよ! オレアンタの花の火。

⑮ 桃色の永遠に響ひて魚をつらんとする。船正ペンボが女の如くさ。やげばゴンドラは滑る。

⑯ 蒼皇たるアケシアの花よ! 我はオドロコを飲んだ。

⑰ 死よさらば!

⑱ 善良な運命性を持つる金曜日に、水筒パイプを捧げて足踏の方へ向かんとする時、橋の上より呼ぶものあれば非常に非常な全部アムプロシアの上にもち上げる。すべては固である。人は固の如く完全にならんとす。安眠する暇もなく微笑する顔を天幕帳の中に包む。

⑲ コスメチツクを解けて扉に入れば直ちに従後を呼びたり。

⑳ 船は塔からチンカワレツに向つて永遠に噴煙する。やがて又我

THE NARCISSUS AT NAPLES
Golden profile golden-haired
In silver pellucid dreaming.
— POEMS BARBAROUS

THE APRICOT TEACHER
The soul has walked slantingly
Fatigue stirs an asthma of dreams
— SPECTRUM

『超現実主義詩論』

I

詩を論ずるは神様を論ずるに等しく危険である。詩論はみんなドグマである。Mallarmé が英吉利の學生に聞かせた講義も今では軽薄なるドグマになった。人間の存在の現実それ自身はつまらない。この根本的な偉大なつまらなさを感ずることが詩的動機である。詩とはこのつまらない現実を一種獨特の興味(不思議な快感)をもつて意識さす一つの方法である。俗にこれを藝術といふ。習慣は現実に対する意識力をにぶらす。傳統のために意識力が冬眠状態に入る。故に現実がつまらなくなるのである。習慣を破ることは現実を面白くすることになる。意識力が新鮮になるからである。併し注意すべきことは習慣傳統を破るために破るものでなく、詩的表現のために、換言すれば、詩の目的としてつまらない現実を面白くするため破るのである。實際に習慣傳

59 西脇順三郎のモダニズム詩観における「無」について

「永遠」とよばれるものを歌おうとする。いかえれば、何ひとつ鏡の上に形を映さないものを歌おうとする。これはひとつのイロニーであるが、西脇氏は最初からのこの詩の限界に坐りこんでしまった。二十数年前に書かれた「OBSCURO」という詩論(初出、昭4 注釋)も、三年前に書かれた「ポイエチス」という詩論も、まったく同じことを語っている。

というように、西脇順三郎の詩は出発点から「無」という永遠を求めているという大岡信氏の論や、Ambarvalia と「旅人かへらず」の間に、実はなんらの矛盾種着はない。二つの詩集は明確なコヒーランス、首尾一貫した詩情がある。詩人の詩に対する根本理念は変わらない。(中略)存在から無への志向、それはすべて西脇詩に一貫して流れているモチーフである。存在はつまるところ無への一時的な停止状態にすぎず、無こそ詩の極限であると詩人は信ずる。

というように、西脇順三郎の詩は第二次世界大戦前もその後も一貫して同じ「無」を求めているという鏡谷幸信氏の論が成立するわけである。

だが、果たして、西脇順三郎が詩において求めた「無」は、戦前と戦後を通じて同じだと平板化し、同一化してよいのだろうか。私は仔細に検討すれば、両氏のような「無」のどちら方は正しくないと考ええる。そこでこの論攷では、昭和初年代の西脇順三郎のモダニズム詩観に現れる「無」の内容を整理し、彼がもっとも重視していた「無」と、その実存的な意義とを明らかにすることで、このことを立証して行きたい。

THE APRICOT TEACHER
The soul has walked slantingly
Fatigue stirs an asthma of dreams
— SPECTRUM

内容見本

『西脇順三郎研究資料集』全三巻の刊行に寄せて

都留文科大学教授 阿毛久芳

西脇順三郎没後三十年を記念して澤正宏氏の編集・解説で『西脇順三郎研究資料集』が刊行される。西脇没後三十年、時の流れの早さを思わぬわけにはいかないが、全集があるとしても西脇の書き残したものが読み続けられなければ、時とともに西脇の命をつなぐことはできない。その意味で今回の資料集は命をつなぐ強力な支えとなるものと考えられる。西脇の詩は情理をわきまえながら、しかもそれをイロニクに破壊し、不思議な結びつきを現出させ笑う。そのような笑いは今も必要なのだ。自由な息吹がそこにはある。

第一巻は詩集『Spectrum』『Une Montre Sentimentale』『Poems Barbarous』以下『Ambarvalia』『あむはるわりあり』『旅人かへらず』が収録され、澤氏の論文「西脇順三郎の詩」『馥郁タル火夫』を読むが付される。第二巻は詩論「シュルリアリズム文学論」「西洋詩歌論」「純粹な驚」が収録される。そして平成三年に出版された澤氏の著書『西脇順三郎の詩と詩論』が付される。第三巻は全集未収録だった資料―叢書や講座に収められた、特に言語学にかかわるものも含めた論文、西脇が参加した座談会はじめ、エッセイ、雑記等が収録され、『西脇順三郎蔵書目録』も付されている。西脇のバックグラウンドをここに展望できる。

本資料集に収録された澤氏の論文や収集した資料の発表誌は『国文学論究』(花園大学国文学会)、『花園大学研究紀要』、『福島大学教育学部論集 人文科学部門』といった澤氏が勤務した大学にかかわる場で、一般の人々の目にふれる機会は少ない。そのような澤氏の地道な研究の営為に光があたることはうれしい。

推薦します

西脇順三郎の蔵書

小千谷市立図書館長 新野弘幸

澤先生が初めて小千谷市立図書館においでになったのは、昭和五十年代半ばのことだった。当館の西脇記念室には西脇順三郎の旧蔵書一、二〇冊などを展示していた。それらはほとんどが洋書であり、特にヨーロッパの詩人や文学者の著書が多い。それらを澤先生は一冊ずつ手に取り書誌データを記録された。そして、ついに三部作の西脇順三郎蔵書目録を作成され、当時お勤めの大学の研究紀要に発表された。じつに地道で根気のいる仕事をされた。

以来幾度となく当館にお越しになり、親しくさせていただいている。澤先生はこれまでも何冊か西脇順三郎に関する著書を上梓されているが、このたびのものは全三巻という大作である。詩集を始め詩論集、文学論集、全集未収録資料まで収録されている西脇研究の総力をあげた力作である。西脇順三郎を知る上での最適なもののひとつになると思う。

澤先生の労力に敬意を表し、推薦の言葉としたい。



70 「夏の宴」装画(2) 1979年

ノーベル文学賞候補に6度も挙げられた英文学者で
詩の巨人・西脇順三郎の初の資料集。第2弾!!

西脇順三郎研究資料集

第2回配本 全3巻

編集・解題・解説 澤 正宏 (福島大学名誉教授)



クロスカルチャー出版

西脇順三郎研究資料集

第2回配本 全3巻

■編集・解題・解説 澤 正宏 (福島大学名誉教授) ■定価 本体90,000円+税
■体裁 B5判・上製 総約2,000頁 ISBN978-4-905388-84-5 C3395
■巻構成

- 第4巻 全集未収録資料『定本 西脇順三郎全集』未収録資料
詩、エッセイ (詩論、論文、評論、書評などを含む)、
研究書 (共著)、その他
第5巻 翻譯編『カンタベリ物語』『三幕の悲劇』詩、評論文等
第6巻 『幻影』第1号~第20号、『西脇順三郎 詩と持論V』
著者書き入れ (抜粋)、西脇順三郎のスケッチブックと
植物採集標本



《好評既刊》西脇順三郎研究資料集 第1回配本 全3巻

■体裁 B5判・上製 総約1,900頁 ■定価 本体88,000円+税 ISBN978-4-905388-40-1 C3395

●第1巻 [詩集]

『Spectrum』(ケイムプレス、ロンドン、1925.8) 初版 / 『Une Montre Sentimentale』(1925) 復元 / 『Poems Barbarous』(私家版、昭和5年) 初版 / 『Ambivalia』(椎の木社、昭和8年9月20日) 初版 / 西脇順三郎詩集『あむばるわりあ』(東京出版、昭和22年8月20日) 初版 / 西脇順三郎詩集『旅人かへらず』(東京出版、昭和22年8月20日) 初版 / 澤正宏: 西脇順三郎の詩「馥郁タル火夫」を読む(上)(中)(下) (『福島大学人間発達文化学類論集』、福島大学人間発達文化学類、第1号、第2号、第4号、平成17年6月~平成18年12月) 初出

●第2巻 [詩論集・文学論集]

『超現実主義詩論』(厚生閣書店、昭和4年11月15日) 初版 / 『シュルリアリズム文学論』(天人社、昭和5年11月11日) 初版 / 『西洋詩歌論』(金星堂、昭和7年11月20日) 初版 / 『純粹な驚』(椎の木社、昭和9年11月25日) 初版 / 澤正宏: 『西脇順三郎の詩と詩論』(桜楓社、平成3年9月20日) 再掲載

●第3巻 [全集未収録資料集]

澤正宏: 『西脇順三郎全集』未収録資料(1)~(6) (『花園大学研究紀要』、花園大学文学部、第15号、第16号、第17号、第18号及び『福島大学教育学部論集』人文科学部門、福島大学教育学部、第48号、第49号、昭和59年3月10日~平成3年3月31日) 初出 / 英語学小論文: The Savoy に就いて、“Feminine endings” in Chaucer、古代英語の語句順序 (English literature and philology; Annual 1929-1930 Volume1. Annual 1931-1932 Volume3. 丸善(発売)、1930) 初出 / 『口語と文語』(研究社、昭和11年12月5日) 初版 / 『Pointed Roofs』Dorothy M. Richardson, with introduction and notes by Junzaburo Nishiwaki 研究社現代英文学叢書(KENKYUSHA、昭和10年11月25日) 初版 / 『言語学概論』(『日本現代文章講座』原理篇、厚生閣、昭和9年8月11日) 初出 / 『現代イギリス文学』(『日本現代文章講座』研究篇、厚生閣、昭和9年7月14日) 初出 / 『座談会 英文学研究の立場』福原麟太郎、西脇順三郎、中野好夫、阿部知二 (『文芸』改造社、昭和15年12月1日) 初出 / 澤正宏: 『西脇順三郎蔵書目録』(1)~(4) (『国文学論究』、花園大学国文学会、第13号、第14号、第15号、第19号及び『福島大学教育学部論集』人文科学部門、福島大学教育学部、第45号、昭和60年10月15日~平成1年3月30日) 初出 / その他・解説 (西脇順三郎自筆原稿、写真、絵を含む)

〈おすすめ先〉 近代詩歌文学、近代文学、英文学、比較文学、美術、大学・短大図書館、公共図書館、文学館など

クロスカルチャー出版

学術出版

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-7-6
TEL: 03-5577-6707 FAX: 03-5577-6708
e-mail: crocul99@sound.ocn.ne.jp

刊行にあたって

福島大学名誉教授 澤 正宏

この度、『西脇順三郎研究資料集』全三巻(第一巻、第二巻、三巻、二〇一二年一月)に引き続き、第二回配本として、同資料集の第四、第五、第六巻を刊行することになりました。昨年(二〇一四年)早々に、六度目のノーベル文学賞候補にノミネートされていたニュースが流れたり、同年に生誕二〇〇年を迎え、慶應義塾大学アートセンターでは安藤礼二氏による講演会がなされたり、郷里小千谷では諏訪哲史氏による講演会や、これに次いでシンポジウムが開催される(小千谷での催しは二〇一五年四月刊の西脇を特集した『現代詩手帖』で紹介)など、ここ数年、詩人としての関心を主とした西脇順三郎への注目度が高まっています。昨年には西脇を特集した雑誌『ころ』(四月、平凡社)や、小中学生のための『西脇順三郎物語』(小千谷市教育委員会)が、今年に入って『21世紀の西脇順三郎』(二月、クロスカルチャー出版)が刊行されています。

こうした西脇順三郎への興味、関心が高まっている時期に、この資料集を刊行することの意義は、難解な詩や詩論、言語学研究などで知られる西脇順三郎の世界に、少しずつ接近していただきたいということでもあります。事実、この度の全集未収録資料を中心に刊行した資料集には、生活面から始まって、創作面、研究業績面での西脇順三郎の実像が分かり易く伝わってくるものが多く収録されています。二十一世紀を生き延びる詩人、言語学者のエッセンスを理解するためにも欠かせない資料集になることを願って第二回配本を刊行する次第です。

内容見本

▼英詩「AEGEAN SEA」

AEGEAN SEA

Junzaburo NISHIWAKI

By the dolicocephal sea of penetrated artichokes
To sleep is a Laputan mask curdled in white violets.
Jupiter-strichen, I awaked from a flamboyant spongy colonnade
Of dreams virile, erectile, oblong, perambulate in a chariot
The wheat-fringed, quinine-scented marbled village street:
Front-door bells in honeysuckle and sweet-william nod pulled
By blue-eyebrowed sailors and flavescent melon-men
And Artemis-throated courtesans, and the pious for the cock-god
Turn spherical feet round and round on lapis lazuli.
Death celebrate this benevolent exploit and listen
To the laughing statue creative painted the colour of man!
Whenever I talk, it is prayer, and eucalyptus murmurs my orison.
Mango, gnu-milk and honey in an almond-waisted tumbler mixed
Like Satan's nettle gardens my surplice and collar pollute.

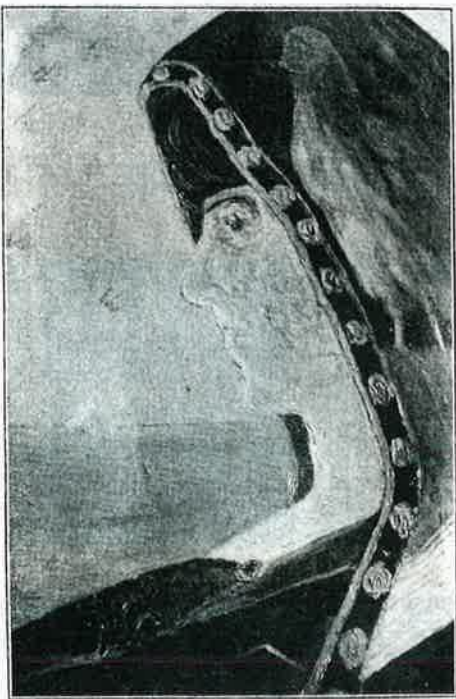
▼イタリア語譯の詩「GENNAIO A KYOTO」

GENNAIO A KYOTO

Giano, vecio,
Il tuo nome fradicio grigio lungo assai
Risuona nei miei versi;
Slavato zotico bifronte
Scipito, vizzo, castano-castoro,
Mangianeve, di radiche e bacche parassita,
Iconoclasta di sidri e d'acquavite,
Invero sei un cane paria
Da bastonare, abbaiente agli dèi tardivi.
So che dèi enfi preferiscono fluire in canne
Più che in misurati versi,
Ma tu ci hai sorpresi con pavido mito,
Quando, in sembante di Giove e d'Ermete
Cercammo orchidee pendule oblunghe e tenui
Al canto del cucù, al cancello di Proserpina
Presso i colli Hiei, lungo scroscianti ciottolosi rivi.

Entrammo in rustica capanna per vedere
Come si netta e s'adorna il focolare
Con rametti di ruta e gangli d'antere

▼西脇順三郎の描いた口絵



FRANCESCA

21世紀を生き延びる詩人、言語学者のエッセンスが読み取れる

特色

- 1 西脇順三郎の戦前、戦中、戦後の英語詩、イタリア語詩(翻譯)を含む未発表の詩(日本語の詩)や初出形の詩などを復刻する。とくに、日本語で詩を書くことを困難とした大正末期の詩(自作のフランス語詩などを自分で和訳した詩など)や、稀覯本となった詩誌『海盤車』(エトワール・ド・メール)に発表の詩など掲載は初期の詩の研究に欠かせない。
- 2 『定本西脇順三郎全集』に掲載されなかった、詩論、論文、評論、随筆、書評、解説、座談会、インタビュー、序文、帯文、コメント、関連資料(挿絵スケッチや口絵)など、学術的な文章から推薦や会話体の文章に至るまでの一〇〇篇を越す新資料を掲載し、さらに深く、詳しく、英文学者、言語学者、評論家、随筆家としての西脇順三郎の実像に迫るように工夫をした。
- 3 第一回配本の『西脇順三郎研究資料集』(全三巻)に引き続き、言語学者である面を重視し、西脇順三郎の専門分野であった古代英語の入門書でもある『古代英語文法 A PRIMER OF OLD ENGLISH GRAMMAR』(共著)を復刻する。この『西脇順三郎の古代英語研究の世界への入り口になるように配慮した。』
- 4 高い評価を得ている翻譯面での業績も重視し、二回に分けて刊行された『カンタベリ物語』の初版をそれぞれ復刻した。また、戦後の欧米の現代詩評論の翻譯も貴重で、ニューヨークリズムを含む論文の逸早い日本への紹介は、再度、日本の戦後の詩の動向と関連づけて見直す必要があるだろう。
- 5 第六巻には生活から詩人、学者の面に至るまで、総合的に西脇順三郎が理解できるように、詩人の故郷・小千谷発の貴重な会報誌『幻影』を復刻した。また、戦中、戦後のスケッチと植物採集の資料を復刻し、その当時の詩人の一端が伝えられるように図った。

●収録一覧

第4巻 全集未収録資料

【詩】『Paradis Perdu 失樂園』より 体裁のいゝ、景色(人間時代の遺留品)自然詩人ドルベンの悲しみ(ヘル茅野肅々へ) 詩(無題) カリマコスの頭と Voyage Pittoresque 詩(無題) AEGEAN SEA 草の葉 紀行 花や毛虫 詩誌『L'OMBRE』より 『GENNAIO A KYOTO』 JUNZABURO NISHIWAKI a cura di MARY DE RACHEWILTZ, ALL'INSEGNA DELLA PERCE D'ORO, MILANO 1966

【エッセイ(詩論、論文、評論、書評などを含む)】『近代英文学雑考』文学批判としての中庸説 国際主義の誕生 古典文学と国民文学【1】【2】近代派の勝利 古典文学と国民文学【3】近代派の勝利 古典文学と国民文学【元】詩について 英国文学と人間性批評 Laurence の手紙 『T.S.エリオット』世界文壇の動き(英) パウンドについて ルネサンス人としてのシェイクスピア 文語体と口語体の問題 英文法初歩書 『COLERIDGE ON IMAGINATION』J.N. 近代詩の諸相 英詩の現代相 詩に就ての一家言 主要なる特質 最近のイギリス文学【1】朴訥さと穏健さ 最近のイギリス文学【2】諧諷で語る批判 最近のイギリス文学【3】現代作家と作品 最近のイギリス文学【4】野口米次郎著『われ日本人なり』『英文学史』夏の昔譚【1】【2】【3】豊田實博士著 日本英文学史の研究 No Traveller Returns 世界人類のためにーアメリカ文学の味ひ方ー 詩論 会話文のスタイル 現代会話文のスタイル II-XI『ナショナル・リーダー』トアメリカ The Virtuosity of T.S.Eliot JUNZABURO NISHIWAKI 他

【研究書(共著)】『古代英語文法』A PRIMER OF OLD ENGLISH GRAMMAR

【その他(序文、インタビュー、座談会、コメント、帯文など)】現代英米文学座談会 私の蔵書整理法 座談会 パウンドと現代詩他

【西脇順三郎の著作、絵画作品に関わる資料】『フランチェスカ』(ダンヌンチオ作、鷺尾浩譯)より 『現代五人集』草野心平 佐藤春夫 西脇順三郎 堀口大學 三好達治』より 雑誌、新聞記事、その他 詩誌『Ambarvalia』4 輯他

第5巻 翻訳編

『カンタベリ物語』西脇順三郎譯 『三幕の悲劇』アガサ クリスチイ 西脇順三郎訳 詩 ホテル広告シエラド・ヴァインズ作 評論文 「足に踏まれた花」ロナルド・ファンク 「パウンドの異変とはーパウンドならびにエリオットの詩と詩論を分析すー」エドウィン・ホーニグ 「ウォルト・ホイットマンとアメリカの伝統」フロイド・ストーヴァル 「アメリカ現代詩の傾向ー六つの詩集についてー」ホレス・グレゴリー 「近代文学の近代要素」ライオネル・トリリング他

第6巻

『幻影』第1号、第20号 『西脇順三郎 詩と詩論 V』著者書き入れ(抜粋)より 西脇順三郎のスケッチブックと植物採集標本

